

相談援助の視座と社会福祉援助の展開過程

- ・ 集合研修1「相談援助の視座と社会福祉援助の展開過程」を受講するにあたり、事前に基礎研修テキスト上巻P32～58を読み、講義の概要を確認してください。

ソーシャルワーク実践の基本的な立場（視座）と原理について、下記の順に学んでいきます。

1. ソーシャルワーク実践の視座と展開過程

ソーシャルワーク萌芽とCOS活動

- ① 社会福祉専門教育とリッチモンド
- ② セツルメント運動、青少年団体の活動
- ③ 専門職化推進と個人の心理的側面への志向
- ④ 社会環境への視座とソーシャルワークの統合化

2. ソーシャルワークの共通基盤とジェネラリスト・アプローチ

- ① ソーシャルワークの共通基盤と生活モデルの登場
- ② ジェネラリスト・ソーシャルワークという枠組み
- ③ 多様なソーシャルワーク理論や実践モデル・アプローチの出現

3. ソーシャルワークにおける「知識」「方法・技術」「価値」

- ① ソーシャルワークを構成する三つの要素
- ② 専門性を構成する要素としての「知識」
- ③ ソーシャルワークの「方法」や「技術」
- ④ ソーシャルワークの理念や指針としての「価値」

相談援助サービスはソーシャルワークを用いて展開されます。ソーシャルワークの歴史を踏まえながら、その専門性を価値・知識・技術の関係から学びます。また、ジェネラリスト、エンパワメントといったすべての実践に共通する視点について学びます。

4. ソーシャルワーカーの果たすべき機能

ソーシャルワークとは「社会生活上の問題の解決・緩和を目指して、専門的知識や技能を用いて相談援助活動を行い、地域における人々の生活を支援する営み」と位置づけ、その機能を明らかにしていきます。下記の順に学んでいきます。

- ① ソーシャルワーク実践とソーシャルワーカーの機能
- ② ソーシャルワークの目的とソーシャルワーカー機能
- ③ さまざまな職種等との連携・協働

- ④ ソーシャルワーカーの機能の向上

5. ソーシャルワーカーの機能の概要

- ①クライアントの問題解決能力や環境への対処能力を強化するための機能
- ②クライアントと必要な社会資源との関係構築・調整のための機能
- ③機関や施設の効果的な運営や相互の連携を促進するための機能
- ④制度や施策の改善・発展、または社会全体の変革を促すための機能

社会福祉士は相談援助を行ううえで、目の前の利用者と家族だけでなく、連携・協働をふまえた関係機関のネットワーク構築や、広く社会の制度政策への働きかけなども行う必要があります。その機能の方向性と機能をそれぞれ理解し、今後の実践に向けて学んでいきます。

6. ソーシャルワーカー機能向上のために

7. ソーシャルワーク実践の展開過程

ソーシャルワーク実践は以下の段階をふまえて実施します。

- ① 援助過程（プロセス）としてのソーシャルワーク実践
- ② 相談援助（ソーシャルワーク）実践過程に各場面
- ③ ソーシャルワーク展開過程に対する理解

養成課程でも学んだこととは思いますが、もう一度実践をふまえてそれぞれの段階ごとに必要な視点を学び、実践においても展開過程が意識できるように学んでいきましょう。

- この科目は『新 社会福祉援助の共通基盤 第2版』上巻 社会福祉士がとらえる相談援助 第2節～第4節を参考にして作成しています。
- 『新 社会福祉援助の共通基盤 第2版』の中で同じような意味で使用されている用語の統一をはかるために、相談援助、社会福祉援助、実践などは「ソーシャルワーク実践」に、利用者、対象者、クライアントなどは「クライアント」にまとめています。